

子どもたちに希望、市民に誇り

環境首都にかえる



当選証書を受ける神谷市長

神谷市政

2期目がスタート

あいさつ

先の安城市長選挙で、再選させていただきました。新たな気持ちで頑張ります。

この4年間で私が目指すのは、安城市を「日本の環境首都」と呼ばれるまちにすることです。地球の温暖化など、環境問題は深刻です。本市はすでにさまざまな環境施策に取り組んできました。今後も全国のモデルとなる先進的な施策に挑戦します。

ところで本市は、過去に前例を見ない大変な人口急増期を迎えています。人口が増えるのはまちの活力につながり、喜ばしいことではありますが、生活環境の破壊につながる要素も秘めています。

大きな問題は、ごみ発生量の増加です。本市のごみ処理コストは、年間で約30億円と試算されます。これは小学校1校の建設費とほぼ同額です。貴重な多額の市税を、このままごみ処理に使い続けてよいのでしょうか。

市民個々が意識すれば、ごみは減らせるのではないのでしょうか。もちろん市もリサイクルの受け皿づくりが急務となります。

ごみ減量で削減できる行政コストで、子育て支援や少子化対策をさらに充実させ、未来の希望につなげたい。それが私の願いです。

都市化に伴う課題は、ほかにもたくさんありますが、全力で問題解決を図ることをお約束します。

皆さんの市政へのご協力、どうぞよろしくお願い申し上げます。

安城市長 **神谷 学**

環境首都を目指して取り組む12項目

- ①市民一人当たり20%ごみ減量に挑戦！
- ②子どもをより安心して生み育てられる環境の充実
- ③高齢者・障害者が安心して暮らせる環境づくり
- ④子どもたちの教育環境の充実
- ⑤生涯学習環境の充実
- ⑥自治機能を充実し、より効率的な行財政運営
- ⑦道路環境整備で交通渋滞を緩和
- ⑧公共交通の充実と自転車利用のまちづくり
- ⑨環境先進企業の誘致
- ⑩都市と農村交流による産業活力の創出
- ⑪新たな公園建設と緑地の充実
- ⑫中心市街地の都市基盤整備推進



市役所北庁舎屋上に太陽光発電パネルを設置(予想図)。二酸化炭素排出量の削減を図り、環境首都を目指す。